



Science Winds

サイエンス・ウインドズ

関西学院大学理工学部同窓会コミュニケーション・レター

NO. 13
Nov. 2017

ご挨拶

関西学院大学理工学部同窓会会長 高井 明德

理工学部同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、理工学部では、創設50周年を経て、2015年より3つの新学科が誕生し、入学定員は700名の9学科体制がスタートしました。2学科100名時代の同窓から見ると想像もできない変化ですが、理学部時代の良さを継承しつつ、新しい時代における発展を、同窓としても楽しみであり、大いに期待するところです。実際、先生方の研究面での活躍は目を見張るものがあります。本年は、このような新しい理工学部の発展に貢献されました尾崎幸洋先生（副学長・教授）が、「日本化学会賞」を受賞されるというたいへん名誉ある出来事がありました（P2参照）。

一方、理学部・理工学部の同窓はさまざまところで活躍していますが、第3期生の三村高志さんには、国際的な賞である「京都賞」を受賞されることになりました（P2参照）。同窓として大変誇りとするところです。

さて、理工学部が大きく変革していく中、理工学部同窓会も従来の姿から新たな時代へと変貌していくべき時が来ています。若い人たちの意識が変わり、ほとんどの新卒者が同窓会費を支払わない状況が続く、取り敢えずは同窓会は眼中にないということでしょうか、理工学部事務室の協力もいただいておりますが状況は改善されず、いずれにせよ今までのような形での運営は難しくなり、今後へ向けて大きな岐路にさしかかっています。

在学生の同窓会への関心を高めるため、在学生と同窓会の交流会等も行っていますが、一方、初期の卒業生はすでに定年を迎える中、現役を終えた卒業生が気軽に交流を深め楽しめる同窓会の在り方も必要ではないかと新たな活動を考えつつあるところです。また、年を取り一度同窓会をしたいという時に手助けをするような役割も必要かと考えています。

理工学部の現況

関西学院大学理工学部長 水木 純一郎

ご存知のように2015年4月より3つの新学科：先進エネルギーナノ工学科、環境・応用化学科、生命医化学科が始動し、今年度で3年目を迎えました。今年4月には718名の新入生が理工学部生の一員に加わりました。先進エネルギーナノ工学科が、物質・材料科学分野をカバーするようになったため、物理学科を再編し、宇宙・天文観測分野を設け、これまでの物理学科とは一味違った特徴ある学科になりました。来年度はそれらの新学科も第一期の卒研究生を迎えることになり、学部としては完成することになります。現在、これらの学科が持つ新専攻（大学院）開設の準備が進められています。2016年度は、大きな賞を受賞する教員が続くうれしい限りです。化学科の尾崎幸洋教授が平成28年度日本化学会賞を受賞、さらに先進エネルギーナノ工学科の若林克法教授が平成28年度日本学術振興会賞を受賞しました。いずれの賞もこれまで私立大学からの受賞者が少なかったことを思うとたいへん誇らしく思います。

我々は、文科省が公募しています平成29年度私立大学研究ブランディング事業に応募するために、学長のもとに「研究ブランド検討プロジェクトチーム」を設置し、環境・応用化学科と先進エネルギーナノ工学科が中心となり、「Global Academic Port—輝く未来を創造する“人と研究”」を基本的なイメージとして、「OPEN GREEN INNOVATION ～環境調和型の技術開発から産学連携による社会実践へ～」を申請しました。この冊子が皆様に届くころには採否結果が出ていると思います。11月の同窓会にはいいご報告ができることを期待しています。

少子化が進む中においても関西学院がますます発展するために現在、次期将来構想“Kwansei Grand Challenge 2039”の策定に取り組んでいます。この構想は、関西学院の創立150周年にあたる2039年を見据えた超長期ビジョンと、それを実現するための方針を示す長期戦略（2018-2027）で構成されています。まずは2018年からの10年間の具体的な実施計画を導き出す指針となる長期戦略を策定しているところです。その中には、「理工学部の活性化」と「三田キャンパスの活性化」が議論されており、将来に向けて理系の強化が期待されることです。

最後になりましたが、理学部第3期生の三村高志さんが2017年の京都賞を受賞されることは、ご存知のことと思います。同窓生のこのような活躍が、我々教員だけでなく、現役の在校生にとって大きな励みになります。同窓生皆さんの益々のご活躍を祈願しております。

Contents

- P1 会長挨拶 高井 明德
理工学部の近況 理工学部長 水木純一郎
- P2 三村高志さん京都賞受賞
尾崎幸洋先生日本化学会賞受賞
- P3 第3回東京支部同窓会、同窓からの便り
- P4 総会案内、同窓会賞、同窓会奨学金、等

三村高志さん「京都賞」受賞！

本学理学部物理学科卒業（1967年卒）の三村高志さん（株式会社富士通研究所 名誉フェロー）が、第33回（2017）京都賞（先端技術部門）を受賞されました。心からお祝い申し上げます。授賞式は11月10日、国立京都国際会館にて行われます。

京都賞は、科学や文明の発展と人類の精神的深化・高揚に著しく貢献した人々の功績を讃える国際賞で、稲盛和夫（現京セラ株式会社名誉会長）により創設され、稲盛財団により運営されています。毎年、先端技術部門、基礎科学部門、思想・芸術部門の各部門に1賞、計3賞が贈られます。

【受賞理由】（京都賞ホームページより）

高電子移動度トランジスタの発明とその開発による情報通信技術の発展への貢献 2種類の半導体を積層化した新構造の「高電子移動度トランジスタ（HEMT）」を発明し、伝導層内の電子移動度が高くなるため優れた高周波特性を持つことを示した。この発明により、情報通信技術の発展に大きく貢献するとともに、極薄伝導層内の電子の物性研究の進展にも寄与した。

【三村高志さんプロフィール】

半導体工学者、工学博士、株式会社富士通研究所 名誉フェロー、情報通信研究機構 未来 ICT 研究所 統括特別研究員。関西学院大学理学部物理学科卒業、大阪大学大学院基礎工学研究科修士課程修了。紫綬褒章、恩賜発明賞、IEEE モーリス・N・リーブマン記念賞等受賞

NHK ニュース 2017.6.16 17:52

「京都賞」新型トランジスタ開発者ら3人

科学や芸術の発展に貢献した人に贈られることしの「京都賞」に、衛星放送用の受信機の性能を高めるトランジスタを開発した富士通研究所名誉フェローの三村高志さんなど3人が選ばれました。

「京都賞」は京都市にある「稲盛財団」が科学や芸術の発展に貢献した人に贈る国際的な賞で、16日、3つの部門の今年の受賞者が発表されました。

「先端技術部門」では富士通研究所名誉フェローの三村高志さん（72）が選ばれました。三村さんは富士通で電子部品を研究し、昭和55年に「HEMT」と呼ばれる新型のトランジスタを開発しました。このトランジスタは衛星放送用の受信機の性能を高め、パラボラアンテナの小型化につながったほか、携帯電話の基地局にも使用されるようになるなど情報通信技術の発展に貢献しました。会見に出席した三村さんは「HEMTは衛星放送の普及を促し、開発から37年がたつ今も活発に研究が行われています。今回の受賞が研究開発の最前線にいる人たちの励みになってほしい」と話していました。

（以下略）

尾崎幸洋先生「日本化学会賞」受賞！

関西学院大学工学部教授の尾崎幸洋先生は、「凝集相における電子・振動遷移の分子分光法の創成とその化学への応用」について、平成28年度の日本化学会賞を受賞されました。心からお祝い申し上げます。表彰式は第97春季年会会期中の3月17日（金）に、慶應義塾大学 日吉キャンパスにおいて行われました。また、関西学院大学工学部におきましても、6月3日（土）宝塚ホテルで受賞記念講演会並びに祝賀会が開催されました。



日本化学会賞は、日本化学会の学会賞であり、化学の基礎または応用に関する貴重な研究をなし、その業績が特に優秀な者に授与されます。日本の化学会の最高の賞ともいえ、歴代の受賞者は日本の化学会を代表する著名な方々です。私学における受賞はかつてほとんどなく、関学工学部においてももちろん初の受賞であり、理学部、工学部同窓生としましても大変うれしい、誇り高い受賞であります。

尾崎先生は、1989年4月、故山田晴河先生の後任として着任され、専門の「分子分光学」を進展させ、世界的な評価を受けられるようになりました。これまでに国内外から多数の受賞を受けてこられました。おまな受賞だけでも20を超え、リストアップするには到底紙面が足りません。詳しくは尾崎研究室のホームページをご覧ください。

（<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/~ozaki/ozaki/>）

先生のご研究を一言でいいますと、「新しい分子分光学の開拓」ということですが、もう少し詳しく説明しますと、「新しいスペクトル解析手法の研究」と「新しい分光装置、システムの開発」により「先端分光分析（超感度分析、非破壊分析）」を可能にし、「機能性物質の構造と物性に関する研究」を行うことと言えます。

これも、ホームページに詳しく解説されておりますので、ご興味をお持ちの方はそちらをご覧ください。

先生は研究者としてご活躍されてきただけでなく、2006年4月から2期4年間にわたり、工学部長として現在の9学科体制に至る新たな工学部の発展の礎を築かれました。さらに2010年4月からは関西学院の常任理事として、また、2013年4月からは関西学院大学の副学長として、工学部はもとより関学全体の将来に向けての発展についても大いに手腕を発揮され、そのご貢献は特筆すべきものです。

尾崎先生の今後の益々のご健勝と、ご活躍をお祈りいたします。

（この記事は、尾崎研究室のホームページを参考に編集者が作成しました。）

会費納入のお願い

会費未納の方は、終身会費（20,000円）又は年会費（2,000円）の納入を是非お願いいたします。郵便振替で、右記口座にご送金ください。

口座名「関西学院大学工学部同窓会」
口座番号「01160-5-24605」

郵便振替用紙には、氏名・学科、卒業年、その他（E-mail、勤務先等）をお書き下さい。

東京支部同窓会開催

平成 29 年度の東京支部同窓会は、「尾崎教授 日本化学会賞受賞記念講演会・懇親会」として、7 月 29 日（土）午後、東京文化会館（講演会）及び LA COCORICO 上野の森さくらテラス店（懇親会）で約 30 名が参加して開催されました。今回、学院同窓会の東京支部、神奈川支部を通して各支部会員の皆さまへお声がけしたところ、9 名出席いただき、互いの交流の場にもなりました。

学院同窓会の村上一平会長にもご多忙の中ご出席いただき、理工学部からは、同窓生でもある橋本秀樹教授、事務室の西藤課長が、理工学部同窓会からは高井会長、朝井副会長も駆けつけて盛大な会となりました。

【講演会】水木純一郎理学部長より「理工学部の今と…」と題して理工学部の現況、各学科・先生方の活躍の紹介等、興味深い内容をお話しいただきました。理系出席者は全員「理学部」時代の卒業生で、当時と比べて学科数・学生数が大幅に増えたことに驚き、また研究内容も多岐に渡り、最先端の技術にも取り組まれていることに驚きました。超長期的なビジョンの紹介もあり、OB として理工学部の更なる発展に期待を膨らませました。

尾崎幸洋教授のご講演は、「一尾崎研究室における分子分光学の研究の流れと発展」と題し、先生の関学での 29 年間の歴史からスタートされ、分光学の広範囲な領域の研究で達成された貢献や技術的な内容、説明もふまえてわかりやすくお話しいただきました。また、研究を共にされた研究室の学生や関係者の方が挑戦したテーマや成果も紹介いただきました。1 時間と短いご講演で、先生の多大な業績のごく一部のご紹介でしたが、「世界の尾崎、関学の尾崎」の偉大さを垣間見ることができた有意義な講演でした。最後は、岩田尉男様（S33 法卒）のエールの先導による校歌斉唱で講演会の閉会となりました。

【懇親会】懇親会では、理工学部同窓会東京支部の活動経緯や現在の幹事会の紹介、11/4 の梅田キャンパスでの同窓会開催の案内、橋本先生のご挨拶、高井会長の乾杯の発声で歓談を開始しました。旧交を温める方、新しい親交を結ばれる方など、和気あいあいとした雰囲気が進みました。全員の自己紹介も場が和み盛り上がりしました。村上一平同窓会長からもご挨拶をいただき、楽しい時間はあっという間に過ぎ、理学部 2 期生今井幸雄様の一本締めで閉会しました。（この記事は、理工学部同窓会東京支部の報告書を参考に、編集者がまとめました。）



同窓からの便り

これからの日本を担う皆さんへ

八木 克眞

(1980 年化学科卒)

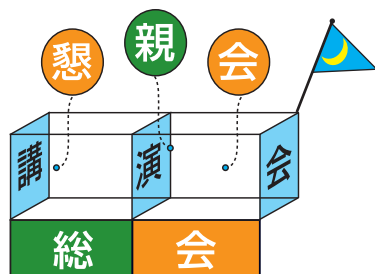
社会人生活が 35 年になり、私の企業勤めも最終コーナーを迎えています。そのような中で、近年、尾崎研究室との共同研究や三田キャンパスの訪問など、関西学院に接する機会がありました。私が上ヶ原で過ごした 6 年間は瞬く間に過ぎ、はるか昔になりますが、先生方の暖かいご指導とともに、多くの失敗や自分で解決できなかった課題も蘇ります。昨今の研究活動は、さまざまな発見と研究環境の進歩もあり、過去の延長上では対処できない課題も多いと思いますが、関西学院の取り組みや理工学部の皆さんの活動を誇らしく感じます。

ここ数年、採用活動で多くの学生諸子と面接をする機会がありました。自分の長所は「自信」をもって紹介し、取り組んできた研究に「誇り」をもって「誠実」に受け答える姿と接するたびに、私自身の責任の重さを感じる場でもありました。人生の大半を企業で過ごしてもらったからこそ、私も一人ひとりの面談を大切に、十分に準備して企業の理念や研究・開発の方針を丁寧に説明しなければなりません。停滞感が払拭できない日本にあって、これからの企業を支える皆さんが新しい発見やブレイクスルーを実現してくれれば、技術立国日本は永続的に発展できるはずで、今後の研究・開発では、専門領域を極める一方で、異なる分野の技術を活用する行動やコミュニケーションの力が重要になると思います。また、新たな発想やひらめきを実行に移し、失敗から学びながら粘り強く真実を究明する日々の努力、ある意味で標準化や効率化、合理性と相反する要素も必要に思われます。大学も企業も若い人の個性や発想を大切に、苦手の克服よりも得意分野を伸ばす教育が重要になりそうです。

社会人に向けて歩み出す皆さんは、失敗を恐れず自分の発想と挑戦を大切にしてください。職種や専門分野を問わず、挑戦と活躍の場が整うことを願ってエールを送りたいと思います。

【著者プロフィール】

八木 克眞（やぎ かつま）：倉敷紡績株式会社 常務執行役員 技術研究所長。1980 年関西学院大学理学部化学科卒業、1982 年関西学院大学理学研究科修士課程修了（鈴木研究室）。同年、倉敷紡績株式会社情報開発部入社（コンピュータ・カラー・マッチングの技術開発、フッ素樹脂の表面改質技術開発などに従事）。2006 年新規事業開発部長、2013 年技術研究所長、現在に至る。



関西学院大学理工学部同窓会のご案内

— 大阪梅田キャンパスで開催 —

日時：11月4日（土）午後4時30分

●場 所：関西学院大学大阪梅田キャンパス

大阪市北区茶屋町 19-19 アプローズタワー 14F
(ホテル阪急インターナショナルが所在するタワー)

●プログラム

- 16:30 受付開始
16:40 開会・理工学部同窓会総会
同窓会奨学金授与式
17:00 理工学部の現況 水木純一郎理工学部長
17:20 講演会 尾崎幸洋先生 *1 日本化学会賞受賞記念講演
「分子分光学研究における
尾崎研のセレンディピティー」
*1 副学長、教授、元理工学部長
17:50 講演会 講師 八木克真氏 *2 (1980年化学科卒)
「これからの日本を担う皆さんへ」
*2 クラボウ (倉敷紡績株式会社)
常務執行役員・技術研究所長
19:00 懇親会
20:30 閉会

●会 費：4,000円

*終身会費未納の方は、年会費2,000円又は終身会費(2万円)の納入をお願いいたします。

●出欠席の連絡（出席の申し込み）

*総会・懇親会に出席の方は、E-mailで下記アドレスにご連絡ください。氏名、学科、卒業年、その他（勤務先、近況など）を必ずお書きください。欠席の場合でも近況などを報告いただければ幸いです。

出欠席連絡先 E-mail: sokai@kgus-alumni.org

同窓会の御案内

同窓会長 高井 明德

今年度の同窓会は左記の通り大阪梅田キャンパスで開催いたします。総会后、新学部長水木純一郎先生に理工学部の現状をお話いただき、尾崎幸洋先生の日本化学会受賞記念講演、同窓生の八木克真氏による講演を行います。八木氏には、これから社会に出ていく若い方々へのメッセージも含めた講演をしていただくことになっていきます。

懇親会では、お世話になった先生方、同窓の皆様、共に語り合い、楽しい懇親の場にしたいと思っております。また、現役の人たちとの交流の場ともしたいと思っております。是非お誘いあわせの上、ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

2016年度 同窓会賞受賞者

化学科	山羽 紗代
生命科学科	寛島 卓弥

本賞は3月18日の卒業式において授与されました

2017年度 同窓会奨学金授与者

数理科学科	勝野 向陽
物理学科	川井 拓真
化学科	北村 由羽
生命科学科生命科学専攻	大西 菜月
生命科学科生命医化学専攻	井原 紀子
情報科学科	前田 紘輝
人間システム工学科	上田 明里

プラズマとエレクトロニクスの
専門メーカー

株式会社ニッシン

世界一を目指します

- 【製品例】
- ・マイクロ波電源、周辺機器
 - ・プラズマ応用生産装置
 - ・高周波技術応用機器
 - ・マイクロコンピューター応用機器

本社 兵庫県宝塚市亀井町10-7
会長 竹内 修(物理学科第1期卒)

有機化合物の受託研究・受託製造・ 分離精製・研究開発支援

有機合成化学、バイオ技術を駆使して、
お客様のご要望に柔軟に、スピーディーにお応えします。

- > 機能性有機材料(半導体・太陽電池など)、各種化成品の合成
- > 原薬、医薬中間体、治験用原薬の生産
- > ドラッグデザイン、リード創出、最適化研究などの創薬支援
- > 遺伝子組み換え体(微生物、細胞)による有用物質生産
- > 微生物によるバイオコンバージョン
- > 代謝産物や天然物からの有効成分の抽出・分離精製

 神戸天然物化学株式会社

KNC Laboratories Co., Ltd.

本社営業部 TEL(078)224-5106 FAX(078)990-3215
〒651-2241 兵庫県神戸市西区室谷 1-1-1
東京営業所 TEL(03)3251-1861 FAX(03)3251-1862
〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 6 大矢ビル 5F

理工学部同窓会ホームページ

理工学部同窓会の活動やイベント等は、ホームページに掲載しております。定期的にホームページをご覧ください、ご参加等いただければ幸いです。

ご寄附のお願い

本同窓会の財政事情が厳しく、円滑な運営のため、ご寄附いただけると幸いです。

入金先(郵便振替口座)

口座名「関西学院大学理工学部同窓会」

口座番号「01160-5-24605」

サイエンス・ウインズ No.13 (2017) 発行 関西学院大学理工学部同窓会 2017年11月1日

SCIENCE WINDS: Communication Letter from the Alumni Association of the School of Science and Technology of KGU

URL <http://www.kgus-alumni.org/> E-mail: information@kgus-alumni.org

関西学院大学理工学部同窓会事務局 〒555-0021 大阪市西淀川区歌島1-4-4 寿印刷(株)内
理工学部住所：〒669-1337 兵庫県三田市学園 2-1 関西学院大学神戸三田キャンパス(KSC)